



SANWA SUPPLY

マルチメディアキーボード取扱説明書

SKB-MMUHSV



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
(ただし、USBポートを持ち、パソコンメーカーがUSBポートの動作を保証している機種)

対応OS

Windows Me・2000・98SE・98

最初に
ご確認
ください。

セ
ット
内
容

マルチメディアキーボード	1台
専用アプリケーションソフト(3.5 フロッピーディスク)...	1枚
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にして置いて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2001.4

はじめに

このたびは、マルチメディアキーボードをお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、付属のソフトウェアにより、CD-ROMドライブのコントロールやインターネットへのワン
タッチアクセスなどが行えるマルチメディアキーを装備したキーボードです。(標準キーの配列は、
106日本語キーボードに準拠しています。)

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問や気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社
までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のもものと異なることがあります。

必要なシステム

Windows Me・2000・98SE・98

3.5 フロッピーディスクドライブ(専用ソフトのインストールのために必要)

CD-ROMドライブ(CDコントロール機能)

サウンドカード(CDやAVIファイルの再生に)

ACPIもしくはAPM に準拠した電源管理システム(ACPIキー)

ATXマザーボードとATX電源(ACPIキー)

⚠ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりし
た場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社ま
でご連絡ください。

雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器
具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでく
ださい。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。ま
たこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使
用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、
及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。
これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いか
ねます。

本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

快適な使用方法

手首はまっすぐにのび、指は少し曲げた状態にする。
手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。
15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。
窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。
キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンドがついています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

注意 スタンドを立てるときには、必ず完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

特長

USBインターフェースに準拠した日本語キーボード(「106日本語キーボード」に準拠したキーボードです。)

キー数は全部で113、(106キー+左右Windowsキー+アプリケーションキー+スリープキー+2つのショートカットキー+マルチメディアファンクションキー)

マルチメディアキー(ファンクション機能)

CDのコントロールやインターネット、eメールに簡単アクセス。

マルチメディア ファンクションキーのON/OFFでファンクションキーとマルチメディアキーをワンタッチで切り換え。

パスパワー専用のUSBハブ内蔵(2ポート)

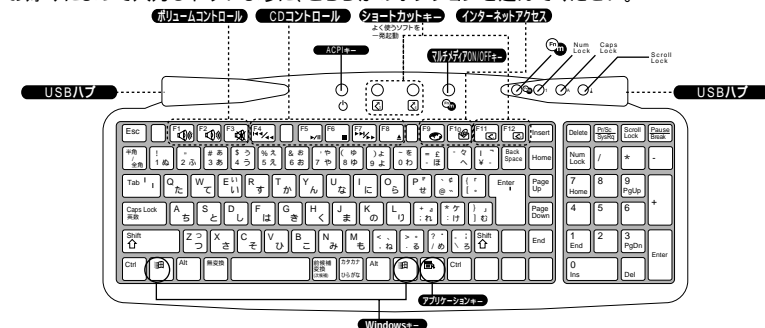
幅40cmの小型フルキーボード

フルキーボードでありながら幅408mmと小型化(15%・当社比)しており、デスクトップを省スペースに使用可能。

WindowsのACPI対応の「パワーオフ&スリープ」キー装備。

キーボードの角度調節(2段階)用スタンド付。

キーボードの底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンドがついています。お好みによって入力しやすいように、どちらかのポジションを選んでください。

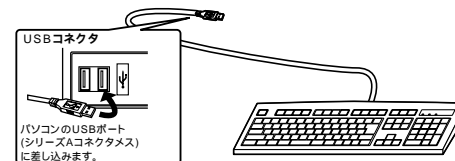


注意 パソコンの機種・BIOSによっては、ACPIキー(パワーオフ&スリープ)が機能しない場合があります。Windows 98ではACPIキーをサポートしていません。Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定、SCSIボードの設定など)はできません。このキーボードを初めて使用する時に、パソコンの機種・BIOSによっては、起動する前にPS2マウスかPS2キーボードを本体に直接接続しておく必要があります。パソコンの機種・BIOSによっては、サスペンドモード(スリープモード、スタンバイモード)後にUSBキーボードを認識しない場合があります。この時は接続しているUSBコネクタをいったん引き抜いてからもう一度接続してください。ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。内蔵USBハブは消費電力が100mAを超えるパスワード(ACアダプタが無い)USB機器は使用できません。

キーボードのセットアップ

キーボードの接続(インストール)

- 1 パソコンのUSBポートを、確認してください。(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています。)
- 2 パソコンの電源入っている状態(Windowsが完全に起動した後)で、パソコンのUSBポートにキーボードのUSBコネクタを接続します。



注意

初めて接続する時にパソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前にはUSB機器を認識しない場合があります。そのため、本製品を初めてパソコンに接続して電源を入れた際(コールドプラグ)、キーボードエラーやマウスエラーが発生してWindowsが起動できず、本製品のインストールができないことがあります。また、Windowsが起動しても、本製品のインストール作業中に本製品が作動せず、作業できない場合があります。これらの症状を避けるため、本製品を初めて接続する際はWindows起動後に接続する(ホットプラグ)か、あるいはパソコン本体のPS/2マウスポートにPS/2マウスを接続してからパソコンの電源を入れてください。なお、一度本製品のセットアップを正常に行ったら後は、同じUSBポートに接続している限り、このような作業を行う必要はありません。

3. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現われます。

Windows Me・Windows 2000の場合

- 4 必要なドライバは数分で、順次自動的にインストールされます。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。
- 5 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でこれまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでで、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 6 この後、本製品付属の3.5"フロッピーディスクから、マルチメディアファンクション用ソフトウェア(Key Maestro)をインストールしてください。マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。

Windows98 SEの場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 「完了」をクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が閉じ、すぐにまた「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4 ~ 8.)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4 ~ 8.)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 11 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でここまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでで、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 12 この後、本製品付属の3.5"フロッピーディスクから、マルチメディアファンクション用ソフトウェア(KeyMaestro)をインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。
(注1) 必要なドライバが見つからなかった場合
本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。
画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。
(注2) 「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

Windows98の場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



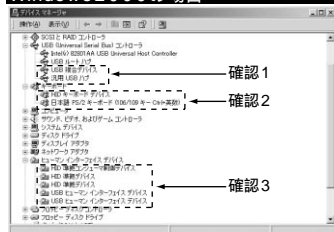
(画面5)

- 9 「完了」をクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が閉じ、すぐにまた「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4 ~ 8.)で「USB互換デバイス」のインストールを行ってください。
- 10 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4 ~ 8.)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 11 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4 ~ 8.)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 12 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でここまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでで、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 13 この後、本製品付属の3.5"フロッピーディスクから、マルチメディアファンクション用ソフトウェア(KeyMaestro)をインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。
(注1) 必要なドライバが見つからなかった場合
本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。
画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。
(注2) 「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

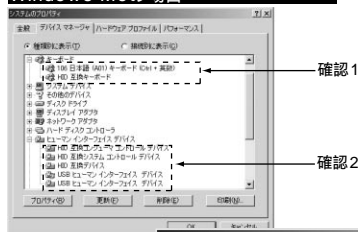
キーボードの接続(インストール)の確認

正常にインストールされると「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」画面で以下のようにインストールされていることが確認できます。

Windows 2000の場合



Windows Meの場合

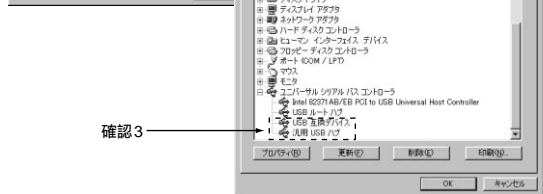
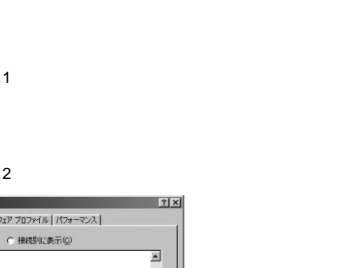
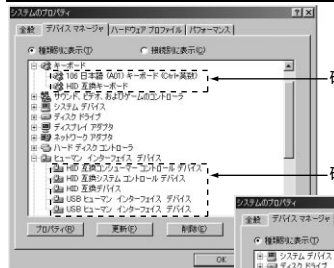


Windows 2000の場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。('日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」がデバイスマネージャに無い場合は、「表示(V)」から「非表示のデバイスの表示」を実行してください。)

Windows Meの場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(ドライバが更新されない場合は、一度他('101キーボード'等)のドライバに更新してから、再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバに更新してください。)

Windows Meの場合、デバイスマネージャのアイコンに緑色の?マークが付くことがあります。これは本製品を使用する上では全く問題ありませんので、そのままご使用ください。

Windows 98 SE・Windows 98の場合



ソフトウェアのインストール/アンインストール

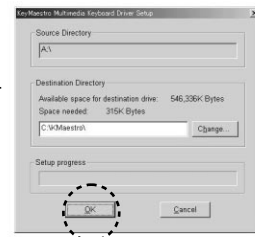
ソフトウェア('Key Maestro Multimedia Keyboard Driver')のインストール

1. 付属のフロッピーディスクをパソコンのフロッピードライブにセットしてください。
2. スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選んでください。
3. 名前の欄に「A:¥setup.exe(フロッピードライブが「A」ドライブの場合)」と入力し、「OK」をクリックしてください。
4. 以下の画面が現れます。「OK」をクリックしてインストールを開始してください。



マルチメディアキー用のドライバをインストールします。キーボードの接続・インストールが行われ、マルチメディアキー以外の機能が正常に動作することを確認しておいてください。
セットアップを続けますか?

5. 右の画面が現れます。「OK」をクリックしてインストールを続けてください。
(インストールする先を変更する場合「change」ボタンをクリックして変更を行ってください。)



6. インストール途中で以下の画面が表示されます。
「Key Maestro CD player」をCDプレーヤーとして使用する場合は「はい」をクリックしてください。



「Key Maestro CD player」をデフォルトのプレーヤーにしますか。
(「いいえ」を選ぶとすでにインストールされているプレーヤーがそのままデフォルトのプレーヤーとなります。)

重要

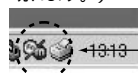
通常のWindowsではオーディオCDやオーディオファイルを再生するソフトとして「Windows Media Player」や「Windows CDプレーヤー」がデフォルト(初期)設定されています。このデフォルトのまま使う場合は「いいえ」をクリックしてください。ただし「いいえ」をクリックした場合、本キーボードの「CDコントロールキー」は使えません。
「CDコントロールキー」が使用できるプレーヤー(オーディオ再生ソフト)は「Key Maestro CD player」と「Win DVD 2000」(バージョン2.1以降)です。

7. インストールが終了すると以下の画面が現れますので、「OK」をクリックしてください。
ドライバが直ちに読み込まれ、実行されます。



プログラムのインストールは終了しました。
再起動の必要はありません。

ソフトウェアが実行されると画面右下のWindowsのタスクバーに「Key Maestro」のアイコンが現れます。)

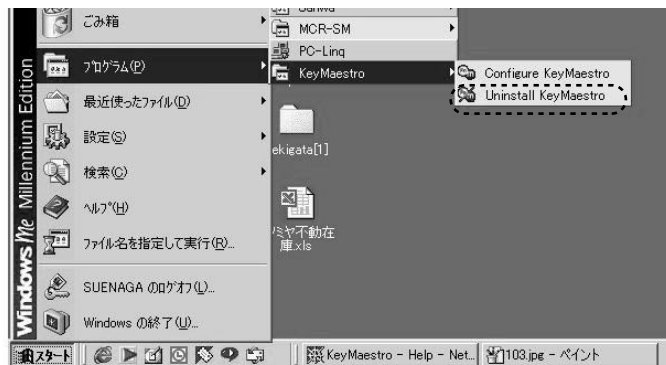


ソフトウェアのアンインストール

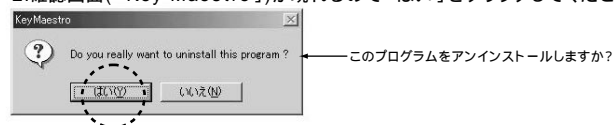
ソフトウェアのドライバソフトをアンインストール(削除)する場合、以下の手順で行ってください。

1. スタートメニューの「プログラム」の

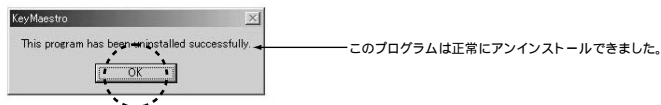
「Key Maestro」の「Uninstall Key Maestro」を実行してください。



2. 確認画面(「Key Maestro」)が現れるので「はい」をクリックしてください。



3. アンインストールが終了するともう一度確認画面が現れますので「OK」をクリックしてください。
以上でアンインストールは終了します。



使い方と機能について

マルチメディアファンクションキー

- MFボタンを通してファンクションキー(F1-F12)をマルチメディア機能に切り替えられます。
- MFボタンの横にあるLED、またKey MaestroアイコンはMF機能の状態を示します。





MFボタン
(マルチメディア
ファンクションキー)
1回押すごとにOn/Off
切り換え。



MFのステータスLED
On時点灯します。






F1		ボリューム ダウン	スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを下げます。
F2		ボリューム アップ	スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを上げます。
F3		ミュート	サウンド出力をミュート(消音)します。元に戻すためにはもう一度ボタンを押します。
F4		前/巻き戻し	一度押すと前のファイル/曲に戻します。押し続けられれば、再生しながら早く巻き戻します。ボタンを放すと普通に再生します。
F5		再生/一時停止	現在のオーディオ/ビデオファイルを再生/一時停止します。再生中にボタンを押すと一時停止します。再生に戻るためにはもう一度押します。 本ドライバはオーディオCDやビデオCDを再生だけでなく、DAT、MPG、AVI、WAV、MIDとMP3形式のファイルも再生できます。CD-ROMドライブにオーディオ、及びビデオファイルが入っていないければ、このボタンを押すとメディアファイルを選択するためのダイアログボックスが表示されます。(右図参照)ダイアログボックスで再生順を設定できます。 このボタンは「WinDVD 2000」(バージョン2.1以降)にも対応しています。WinDVDがインストールされているならDVD映像を楽しめます。WinDVDについての詳しい情報は :www.intervideo.comを参照してください。
F6		停止	再生を停止します。
F7		次/早送り	一度押すと次のファイル/曲に飛ばします。押し続けられれば、再生しながら早送りできます。ボタンを放すと普通に再生します。
F8		取り出し	CDトレイを取り出します。
F9		WWW	インストールされているインターネットブラウザを起動させます。 2つのブラウザがインストールされている場合、デフォルトのブラウザを起動させます。 また、このキーはショートカットキーとして再設定できます。 設定を変えるにはタスクバーにあるKey Maestroアイコンをクリックし、設定を選択します。 詳しくは「設定」をお読みください。
F10		eメール	eメールソフトを起動させます。WWWと同じように、このキーを再設定し、ショートカットキーとして使用することもできます。 設定を変えるにはタスクバーにあるKey Maestroアイコンをクリックし、設定を選択します。詳しくは「設定」をお読みください。

F11		ショートカット1	よく使うドキュメントやプログラムを簡単にアクセスできます。デフォルトの設定(初期設定)はWindowsの「メモ帳」となっています。設定を変えるにはタスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックし、設定を選択します。詳しくは「設定」をお読みください。
F12		ショートカット2	ショートカット1と同様。デフォルトの設定(初期設定)はWindowsの「電卓」となっています。

ショートカットとスリープボタン

マルチメディアファンクション機能がOFFの時でも、ショートカット3、ショートカット4、またはスリープボタンを使用できます。



	ショートカット3	ショートカット1と同様。
	ショートカット4	ショートカット1と同様。
	パワーオフ & スリープ (ACPIキー)	一度押すとシステムをサスペンド(スリープ:消費電力を低減する。)モードにします。押し続ければ(約4秒以上)、システムをシャットダウン(パソコンの電源を切ります。)します。Windows98・95・NTでは、この機能は使用できません。またパソコンの機種、BIOSによってはこの機能は正常に動作しないことがあります。

メディアファイル選択のダイアログボックス(▶/|| F5キー)

CD-ROMドライブにオーディオCDが入っていない時に[F5▶/||]キーを押すと、このダイアログボックスが開きます。

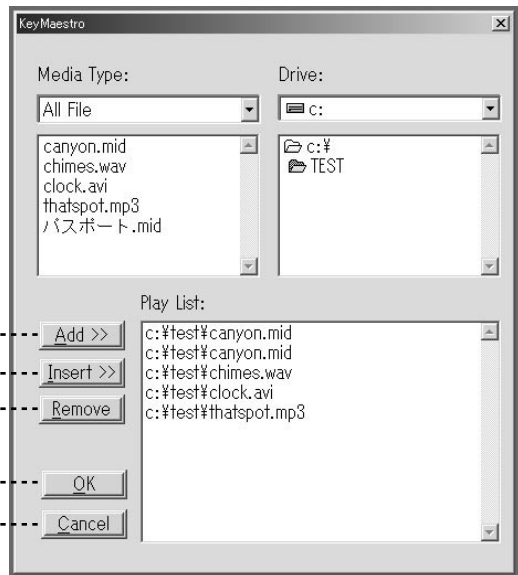
プレイリストに選択したファイルを追加

プレイリストに選択したファイルを挿入

プレイリストから選択したファイルを削除

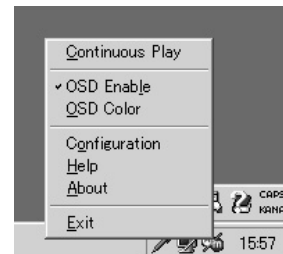
ダイアログボックスを閉じて、プレイリストのファイルを順番に再生します。

ダイアログボックスを閉じます

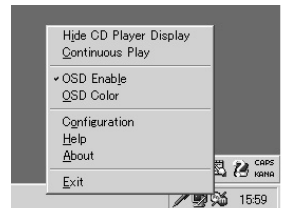


ソフトウェア(Key Maestro)の設定 メニューコマンド

タスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックすると、右記のコマンドメニューが表示されます。



CD Player演奏中には右記のコマンドメニューが表示されます。



Hide (show)CD Player Display (CDプレーヤを表示する/隠す)

CDプレーヤのディスプレイを示す/隠すためのコマンドです。KeyMaestroがメディアファイルを再生する時しか表示されません。マウスでディスプレイを動かすこともできます。ディスプレイを閉じるには右上にある「X」をクリックする方法もあります。



Continuous Play(連続再生)

このコマンドは再生されているファイルを連続的に再生します。この機能を使用する場合、CDプレーヤーディスプレイに「REPEAT」の文字が表示されます。

OSD Enable(OSD使用可能)

OSD(オンスクリーンディスプレイ)を隠すためのコマンドです。OSDが使用可能である場合は、マルチメディアボタンを押す際に、機能名が画面の左下に表示されます。


OSD Color(OSDカラーディスプレイ)

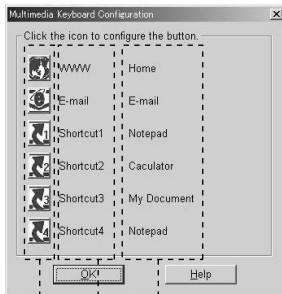
OSDカラーを設定するためのコマンドです。好みに合わせたカラーを選択できます。

Configuration (設定)

WWW、電子メール及びショートカットの再設定可能なキーを変更するためのコマンドです。再設定できるボタンは設定ウィンドウで表示されます。

1行目には定義されたボタン名が表示されます。2行目には現在の設定されているラベル名が表示されます。再設定するためにボタンをクリックすると、ボタン設定ボックスが表示されます。

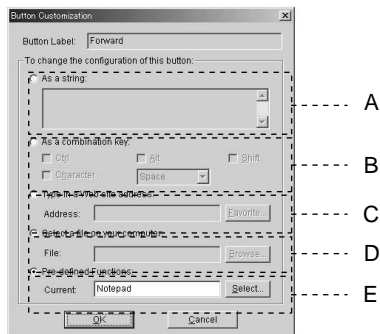
ボタンのアイコンは通常  ですが、カーソルをアイコンの上に移動すると右図のようなアイコンに変わります。



ボタン 1行目 2行目

① ボタンの機能を設定する。

A～Eの中から何れか一つだけ設定することができます。



注意:
各入力ボックスで日本語を入力・確認すると設定画面では文字化けしてしまいますが、実行するときには正常に表示あるいは入力されます。

A スtringとして

よく使われるテキストString(文字列)をボタンに設定できます。最大文字数は3000字(半角)です。住所や定型文章を入力し、登録しておく、ワンタッチで入力することができます。

As a string をマウスでクリックし、チェックを付けてから入力ボックスにキーボードで入力してください。

B コンビネーションキーとして



よく使うコマンドを実行するために、Windowsのソフトにはたくさんのホットキーが含まれています。ホットキーを実行させるには2つ、または3つのキーを同時に押す必要があります。それらのホットキーを覚えて、押すのは難しいことでしょう。どうしても覚えられない、難しいホットキーを設定できるようにしています。

例えば:

[Alt] + [F4] = ウィンドウを閉じる

[Ctrl] + [A] = すべてを選択 (注意:[Ctrl] + [Alt] + [Delete] のコンビネーションは設定できません。)

As a combination Key をマウスでクリックし、チェックを付けてから、使用するキーをマウスで選択してください。

[Ctrl]・[Alt]・[Shift]キー以外のキーは Character をマウスでクリックし、チェックを付けてから右にある  の  マークをクリックしてこのプルダウンメニューの中から選択してください。

C ウェブサイトアドレスを記入する

ウェブページをボタンに設定するために、「Type in Web site address」をマウスでクリックし、チェックを付けてからAddressフィールドにアドレスを入力するか、「Favorite」ボタンをクリックして、「お気に入り」のアドレスから選択してください。

D コンピュータのファイルを選択する

「Select a file on your Computer」をマウスでクリックし、チェックを付けてからファイル名を入力するか、「Browse」ボタンをクリックし、ファイルを選択してください。

E デフォルト機能

「Pre-defined Functions」をマウスでクリックし、チェックを付けてから、「Select」ボタンをクリックしてリストの中から選んでください。

② ボタンのラベルを入力する

「Button Label」ボックスに、ボタンが起動させるアプリケーション名、もしくはボタンの機能の説明を入力します。

各入力ボックスで日本語を入力・確認すると設定画面では、文字化けしていますが、実行するときは正常に表示されます。

このラベル名はボタンを押す際にOSD(オンスクリーンディスプレイ)として表示されます。

③ 「OK」をクリックします。

ボタン設定ボックスが閉じて、Configuration(設定)画面に戻ります。

必要に応じて各ボタンの設定を同様に行ってください。

各設定が終わりましたらConfiguration(設定)画面の「OK」をクリックしてください。

Help(ヘルプ)

このコマンドを選択するとヘルプファイルが表示されます。

About アバウト(バージョン情報)

このコマンドを選択するとKeyMaestroソフトウェアのバージョン情報、ドライバーの更新ダウンロードについてなどの情報が表示されます。

Exit(終了)

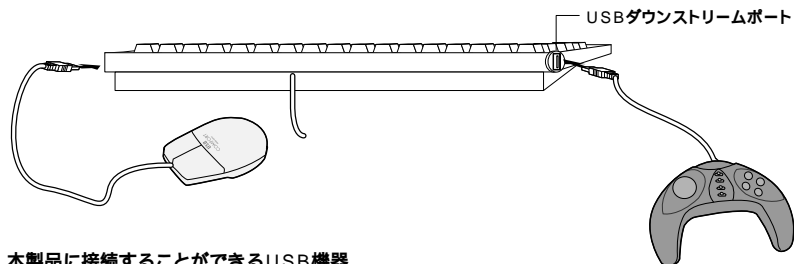
ソフトウェア(Key Maestro)を終了させるためのコマンドです。コンピュータを再起動する際、ドライバーは自動的に起動されます。

ドライバーをアンインストールするためには、P.8の「アンインストール」を参照にしてください。

他のプログラムのインストールの際に問題が発生する場合は、本ドライバーを終了させてからインストールを行ってください。

USB機器の接続

本製品のインストールが正常に終了すると、本製品にUSB機器を接続して使用することができます。
USB機器の接続については各機器の取り扱い説明書を参照してください。



本製品に接続することができるUSB機器

- 消費電流が100mA以下のバスパワードのUSB機器
- マウス・ジョイスティック・ゲームパッドなど
- ACアダプタから電力をとるセルフパワードのUSB機器
- プリンタ・イメージスキャナなど

本製品に接続することができないUSB機器

- 消費電流が100mAを超えるバスパワードのUSB機器
- イメージスキャナ・FDドライブ・カードリーダー・CCDカメラなど
- 本製品を含め、バスパワード・セルフパワードのUSBハブ
- USBハブ内蔵のキーボード、ディスプレイモニタも含まれます。



USB機器は使用電力によって以下のように分けられます。

セルフパワード

ACアダプタなどによって、電力を一般のコンセントなどから供給されて動作する機器。

バスパワード

接続したパソコンやハブなどのUSBコネクタから電力を供給されて動作する機器。

消費電流の大小でローパワーとハイパワーに区別されます。

ローパワー.....消費電流が100mA以下の機器

ハイパワー.....消費電流が100mAを超え、500mA以下の機器